

成果の説明書

(氏名) 櫻井 常矢	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>【研究活動】</p> <p>(1) 科学研究費助成事業（基盤研究（C））調査研究の実施 課題番号：16K04557（平成 28～30 年度）研究課題：自治体・中間支援機能の再構築過程にみる学習支援構造の変容に関する研究</p> <p>(2) 論文・雑誌・学会報告等</p> <p>①学会発表「NPO 運営による公民館と地域づくりとの関係構造」 日本地域政策学会第 16 回全国研究【千葉】大会個別報告 2017 年 7 月 2 日（日）・中央学院大学</p> <p>②学会発表「NPO 運営による公民館と地域づくりとの関係構造」 日本地域政策学会関東支部 2017 年度研究部会 2018 年 1 月 20 日（土）・東洋大学</p> <p>③ 櫻井常矢「震災復興を支えるコーディネーターのネットワーク」 『ガバナンス』2017 年 7 月号, No.195 「特集：コーディネーターが地域を変える」</p> <p>④ 櫻井常矢「復興を支える職員の経験と課題」 『ガバナンス』2018 年 3 月号, No.203 「特集：被災自治体職員の使命」</p> <p>⑤ 「地域づくりの労働対価？」『自治日報』（2017 年 8 月 4 日付第 1 面）</p> <p>⑥ 「「自治の拠点」と公民館の役割発揮」『自治日報』（2018 年 3 月 23 日付第 1 面）</p> <p>⑦調査協力「地域コミュニティ中間支援組織の運営に関する調査研究」 公益財団法人東北活性化研究センター調査報告書（2018 年 3 月）</p> <p>(3) 学会役員等</p> <p>① 日本地域政策学会理事・企画委員会副委員長</p> <p>② 地域活性学会理事（2013 年 7 月～2018 年 8 月）</p> <p>【教育活動】</p> <p>(1) ゼミナール演習・調査活動</p> <p>①文献購読：『生涯学習と地域社会教育』（春風社）、『テキスト生涯学習』（学文社）他</p> <p>②中間支援組織の地域展開に関する訪問調査及び事業分析 調査先：認定 NPO 法人 ちば市民活動・市民事業サポート、（特活）都岐沙羅 パートナーズセンター、（特活）茨城 NPO センター・ commons 調査期間：2017 年 9 月～2017 年 11 月</p> <p>③沖縄県内の公民館・地域づくりに関する調査 （エイサー祭りを通じた青少年育成に関するフィールドワーク） 調査先：宜野湾市長田自治会、青年会、長田公民館 調査日：2017 年 9 月 4 日～7 日、9 月 16 日～20 日</p> <p>④海外フィールドワーク</p> <p>■【訪問先】ベトナム・ダナン 【日程】2017 年 9 月 9 日～14 日 【調査課題】ベトナムの Community Learning Center に関する訪問調査</p> <p>■【訪問先】カンボジア・シェムリアップ、プノンペン</p>	

【日程】2018年2月19日～24日

【調査課題】カンボジアのCommunity Learning Centerに関する訪問調査

⑤ゼミナール研究年報（第12号）の編集・発行 発行日2018年3月24日

(2) 自治体・地域との連携を通じた学生のコーディネート力の育成

①富岡市地域づくり協議会推進事業

⇒富岡市地域づくり協議会（市内11地区）の推進にかかわるサポート事業。

各地区全3回シリーズの住民ワークショップのファシリテーターを務める。

□七日市黒川地域づくり協議会 地域づくり座談会ファシリテーター

2017年5月14日（日）、6月11日（日）会場：富岡市七日市公民館

□東富岡地域づくり協議会 地域づくり座談会ファシリテーター

2017年5月17日（水）、5月31日（水）会場：富岡市東富岡公民館

②（特活）自然王国ほその村〔上越市安塚区細野〕との連携事業

過疎集落の活性化に取り組む集落NPOへの参加を通じた学習プログラム。年間を通じた地域事業運営への参加を通して課題解決手法、住民の主体形成のプロセスを学ぶ。

【地域貢献】

(1) 国、地方自治体の各種委員・アドバイザー等

□総務省地域運営組織の形成及び持続的な運営に関する研究会委員

□群馬県教育委員会 点検・評価委員

□福島県復興祈念公園基本構想検討に係る有識者会議委員

□浪江町「浪江のこころプロジェクト」プロジェクトリーダー

□富岡市元気な地域づくり推進事業アドバイザー

□大崎市政策アドバイザー（地域自治組織・市民協働担当）

□山口市市民協働アドバイザー ほか

(2) 市民協働・地域づくり・生涯学習等に関する自治体職員研修

全国市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）、全国市町村国際文化研修所

（国際文化アカデミー）、山形縣市町村研修所、仙台市、十和田市、宜野湾市、西条市、長岡市、裾野市、長野市、尾道市、高松市、高梁市、高梁市議会、他

(3) 市民協働・地域づくり・生涯学習等に関する市民向け講演

柳川市（自治研修協会）、富岡市、羽島市、十和田市、裾野市、山口市、佐野市、西条市、おいらせ町、鶴岡市、長岡市（寺泊、栃尾）、高松市、新居浜市、宜野湾市、町田市、尾道市、東北活性化研究センター、他

2 その他の事項

【学内業務】広報室長（教育研究審議会委員）

地域政策学部学科のあり方検討会委員

教職課程運営委員会委員、地域政策学部実習運営委員会委員 他

3 次年度以降への抱負

研究、教育、地域貢献について前年度までの蓄積を活かしさらに新たな展開を作ることとしたい。特に最終年度となる科研費研究について学会発表等を活用しながら具体的成果としてまとめることや、海外でのフィールドワークを通じたゼミの教育プログラムの更新を図りたい。